

2020年11月30日

2020年度提言を公表するにあたって

国民森林会議提言委員会

委員長 泉 英二

委員 赤堀楠雄

大住克博

城戸 檀

久米 歩

鈴木直樹

富村周平

藤森隆郎

松下芳樹

三木敦朗

山田 純

今年度は2つの提言を同時に公表することとする。

第1提言は、「持続可能な森林の管理（経営）について」と題するものである。これは、2014年度の「短伐期皆伐」政策を批判した提言、さらに2015年度の「荒い間伐」政策を批判した提言の公表を終えた頃から持ち上がってきたテーマであった。それは、「持続可能な森林の管理（経営）」という考え方があまりに安易に使われ過ぎていることに対して、当会議としての考え方を一度しっかりと整理し、社会に提示すべきであると考えたからである。提言の素案は、2年半ほど前には出来上がっていた。しかし、その後、林野庁から2018年には「森林経営管理法案」、2019年には「国有林野管理経営法改正案」などが矢継ぎ早に国会へ上程された。いずれも大きな問題を孕んだ法案であったため、これらの法案を批判する提言を優先せざるを得ず、「持続可能な森林の管理（経営）」に関する提言

が今年度になってようやく公表できることになった次第である。

第2提言については、今年度公表された「森林・林業白書」において「短伐期皆伐方式」を「持続可能な森林経営」と位置づけていること、しかもその背景に林野庁において、過去の遺物ともいふべき「法正林思想」が復活していること、などが明らかになってきたことに鑑み、その点に警鐘を鳴らす提言を緊急に取りまとめた次第である。

2つの提言の問題意識は通底しているが、対象と接近方法が異なるためそれぞれ独立した体裁をとった次第である。

これらの提言が我が国の森林管理（経営）の抜本的改善と向上に寄与できれば幸いである。

以上